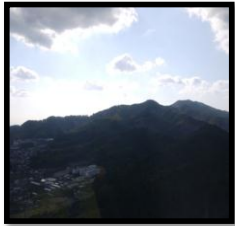


観光資源リスト（旧栃木市） 1

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
1	自然	オオセロサン 太平山	栃木市	-	(公園: 栃木市)	標高345mで山頂からは関東平野を一望にすることができる。山頂の北側には太平山神社が鎮座し、神社の南側には謙信平と呼ばれる展望所があり、ここからの眺望は、「陸の松島」にたとえられている。太平山は春の桜、秋のみみじの名所としても知られている。山本有三の「路傍の石」の文学碑があり、太平だんごも有名。ハイキングコースも整備されている。	-	
2	自然	ウズマガワ 巴波川	栃木市(蔵の街)	-	栃木県	栃木市の発展に大きな役割を果たしてきた巴波川の舟運は、江戸時代に徳川家康の霊柩を久能山から日光山に改葬した際に、日光御用の荷物などを栃木河岸に陸揚げしたことから始まるとされており、物資の集散地として、江戸との交易が盛んになり、江戸時代の終わり頃には隆盛を極めた。今では、錦鯉が群れ泳ぎ、舟行や鯉のぼり、イルミネーションなどのイベントが行われている。	-	
3	自然	ダイヒ 大悲の滝	栃木市出流町288番地	0282-31-1717	出流山満願寺	満願寺本堂の右手から溪流沿いの道を登ったところにあり、寒中でも修行僧や参詣者の入滝の行が行われている。	-	
4	自然	シメジ ハラ 標茅が原	栃木市川原田町	-	-	巴波川の水源地の一つ。清水が豊に湧き出る風光明媚な地であったと言われていたが、今では白地沼あたりにその面影を残しているのみである。	-	
5	公園	キンチャクサンコウエン 錦着山公園	栃木市箱森町	0282-21-2558	栃木市	永野川沿いの小高い錦着山一帯に広がる市民公園。公園の山頂から栃木市内や太平山の眺望が楽しめる。	-	
6	公園	栃木市総合運動公園	栃木市川原田町760	0282-23-2523	栃木市総合運動公園管理事務所	栃木市にある総合運動公園。野球場、総合体育館、テニスコート、陸上競技場等多くの施設があり、さまざまなスポーツやレクリエーションが楽しめる。また、学生や社会人スポーツの大会もこの総合運動公園内で行われることが多く、土日等には多くのスポーツマンで賑わっている。	-	
7	公園	第二公園	栃木市旭町	0282-22-3535	栃木市	神明宮境内に隣接し、明治33年5月に皇太子御成婚記念として設置。市街地に接する公園であり、園地の大部分を池が占め、築山などには記念碑が見られる。	-	

写真 1



2



3



観光資源リスト（旧栃木市） 2

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
8	公園	中州親水公園	栃木市境町	-	-	巴波川の中州に設けた洋式の公園。東岸の栃木キリスト教会の水面に映る姿が景観とよく調和している。	-	
9	公園	うずま公園・瀬戸河原公園	栃木市境町・室町	-	-	巴波川をはさんで双子橋で結ばれている公園。	-	
10	公園	太平山県立自然公園	栃木市平井町	-	栃木市	栃木市、岩舟町にまたがる、面積1067haの公園。	-	
11	公園	イヅル出流ふれあいの森	栃木市出流町417	0282-31-0810	栃木市	片角川をはさんで広がる、面積3.6haの公園。	-	
12	レクリエーション	蔵の街遊覧船	巴波川幸来橋付近	0282-25-2356 栃木市観光協会	うずま川遊会	蔵の街付近を流れる巴波川を遊覧船に乗って舟遊を堪能することができる。また舟の漕ぎ手の人がガイドをしながら舟を漕いでくれるので、川沿いにある施設を興味深く眺めることができる。	大人500円 中学生300円 小学生200円	
13	案内所等	とちぎ蔵の街観光館	栃木市万町4-1	0282-25-0560	栃木市観光協会	かつての荒物問屋の見世蔵と土蔵群からなり、土蔵群は戦後になり「蔵のアパート」として利用されてきた。現在、大通りに面した見世蔵では、観光案内と土産品販売、奥の土蔵群はお食事処と土産品販売を行う蔵の街観光の拠点施設として活用されている。	-	
14	食物・土産品	じゃがいも入り栃木焼きそば	市内じゃがいも入り栃木焼きそば加盟店	-	じゃがいも入り栃木焼きそば会	栃木名物のじゃがいもが入った焼きそば。栃木市近隣に16の加盟店がある。	-	

写真

12



13



14



観光資源リスト（旧栃木市） 3

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
15	食物・土産品	夕顔ラーメン	市内夕顔ラーメン会加盟店	-	夕顔ラーメン会	夕顔麺には栃木県の特産品、「かんびょう」の粉末が入っており、カルシウムや食物繊維が豊富に含まれている。体にやさしい健康麺。	-	
16	食物・土産品	太平山名物 だんご、やきとり、たまごやき	栃木市平井町	-	太平山観光会	太平山神社に奉納された鶏やおさご(洗米)が由来とされる。	-	
17	食物・土産品	イヅル 出流そば	栃木市出流町	-	出流観光会	きれいな地下水に晒され、盆ざるに盛られた手打ちそば。	-	
18	温泉	カシワクラオンセンタインカン 柏倉温泉太子館	栃木市柏倉町967	0282-23-5035	株式会社柏倉温泉太子館 代表 大阿久岩貴	昔より獅子の水呑み場として有名で、獅子をはじめ、山の動物たちが霊水を飲むと体調が良くなったと伝わる。「柏倉温泉太子館」は一軒宿で、源泉の「太子霊鉱泉」は、裏の山林中腹から湧出している。約11度の鉄分を含み褐色に濁った冷鉱泉を浴用加熱した源泉風呂で、借景の日本庭園が美しい。露天風呂は巨岩を配した岩造り。宿泊がメインだが、日帰り入浴も受け付けている。	日帰り入浴850円	
19	温泉	栃木温泉 湯楽の里	栃木市大町22番70号	0282-20-2641	株式会社サンフジ企画	スーパー銭湯チェーン「湯楽の里」の一つ、銭湯ながらこの地に湧出した天然温泉を使用しており本格的な温泉も楽しめる。また寝ころび湯やジェットバスなどもあり、さまざまなお風呂が楽しめる。また施設内にはマッサージチェアやレストランもあり、総合的にリラックスできる空間となっている。	大人650円 小人350円	
20	イベント	とちぎ秋まつり	蔵の街大通り	0282-25-2356	栃木市観光協会	栃木市のメインストリートである蔵の街大通りを主会場に行われる。この祭は山王祭で引き回されていた「静御前の山車」や、宇都宮にあった「諫鼓鶏(かんこどり)の山車」を明治7年(1874年)に栃木の商人が買い取り、栃木県庁で行われた神武祭で披露したことを起源とする。以来、各町が新たに三国志の人物の山車などを製作し、栃木で慶事がある都度これらの山車を市中で披露し、昭和12年(1937年)以降はほぼ5年毎に山車祭りが開かれるようになった。この山車祭りを主催事とし秋に隔年開催としたのが「とちぎ秋まつり」で、隔年11月に開かれる。	-	

観光資源リスト（旧栃木市） 4

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
21	イベント	オオヒラサン 太平山もみじまつり	太平山県立自然公園	-	栃木市	太平山神社を中心とした太平山全体を舞台とした秋の紅葉を鑑賞するまつり。会期は11月中旬から12月上旬。メインとなる舞台は太平山神社、信玄平の茶店(だんご、卵焼きなど)、ヘリコプター遊覧など。	-	
22	イベント	栃木「蔵の街」音楽祭	栃木市文化会館	0282-21-2427	栃木「蔵の街」音楽祭実行委員会	オリジナル楽器を主題とした栃木「蔵の街」音楽祭が毎年秋(10月中旬)数日間、栃木市文化会館をメイン会場として開催されている。この音楽祭は、栃木市の歴史的街並みにマッチし、他のどこも実施していないものという発想のもとに多くのファンを楽しませている。	-	
23	イベント	百八灯流し	栃木市湊町	-	湊町自治会	百八の煩惱を水に流す為の仏教行事として、毎年8月上旬に行われている。	-	
24	食物・土産品・食事・文化財(国指定登録有形文化財)	アブデンミノ、テンボ、ケンオモヤ 油伝味噌店舗兼主屋	栃木市嘉右衛門町5-27	0282-22-3251	油伝味噌株式会社	天明年間に油店として創業。幕末から味噌の醸造を始めたという老舗。豆腐、里芋、こんにやくの「味噌田楽盛り合わせ」などが人気のメニューとなっている。またこの店舗も国の登録有形文化財に指定されている。	-	
25	文化財(国指定登録有形文化財)	アブデンミノ、ナカクラ 油伝味噌中蔵	栃木市嘉右衛門町5-26	0282-22-3251	油伝味噌株式会社	東蔵の西方に東西棟で建つ。桁行5間梁間2間半規模、切妻造、棧瓦葺の平入2階建土蔵で、東蔵と同様に北側に幅2間程の下屋を設ける。北面壁は、西方味噌土蔵の下屋の壁に連続する簷子下見板(さざらごしたみいた)張の漆喰塗壁で、長大な醸造蔵景観を敷地北面につくりだしている。	-	
26	文化財(国指定登録有形文化財)	アブデンミノ、ヒガシクラ 油伝味噌東蔵	栃木市嘉右衛門町5-26	0282-22-3251	油伝味噌株式会社	文庫蔵の西側に東西棟で建つ。桁行4間梁間2間、切妻造、棧瓦葺の2階建土蔵で、南面に庇を差し掛けて戸前をとるほか、北側に2間幅規模の下屋を設ける。下屋の北面は、東方外塀と連続した凝灰岩造の壁で、敷地北面に特徴的な屋敷構えをつくっている。	-	
27	文化財(国指定登録有形文化財)	栃木高校 講堂・図書館	栃木市入舟町12-4	0282-22-2595	栃木県立栃木高等学校	講堂は明治43年、図書館は大正3年に建築され、共に国の登録有形文化財に指定されている。板張りにペンキ塗り、瓦葺の洋風建築である。	-	

観光資源リスト（旧栃木市） 5

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
28	文化財(国指定登録有形文化財)	横山郷土館	栃木市入舟町2-16	0282-22-0159	館長 横山統子	横山家は、明治33年に共立銀行を創立。同時に下野の特産物麻の問屋であった。麻問屋時代の帳場や昔の銀行の事務局などが再現されている。	大人500円 小人300円	
29	文化財(国指定登録有形文化財)	山本有三ふるさと記念館	栃木市万町5-3	0282-22-8805	NPO法人 山本有三記念会	「路傍の石」などで知られる文豪山本有三の業績を称え設立。江戸末期の見世蔵を改修した記念館の館内には愛用の品や自筆の原稿が展示されている。	大人200円 中学生以下無料	
30	文化財(国指定登録有形文化財)	塚田歴史伝説館	栃木市倭町2-16	0282-24-0004	特例財団法人 塚田歴史伝説館 代表 塚田裕康	塚田家は、江戸後期から巴波川の舟運を活かし、木材回漕問屋を営んできた豪商であった。長さ120mの黒堀内には白壁土蔵があり、蔵の中では、江戸時代の家宝を展示。またカラクリ人形に改造した人形山車、ハイテクロボット紙芝居「うずま川悲話」も好評を博している。	大人700円 小人350円	
31	文化財(国指定登録有形文化財)	栃木市役所別館	栃木市入舟町7-31	0282-21-2742	栃木市	もと県庁があった地に町の役場庁舎として建てられた。町の技師堀井寅吉の設計。木造2階建て塔屋付の洋風建築で、もとは1階に事務室、食堂等、2階に議場、貴賓室等が設けられていた。市の近代の歴史を物語る上で欠くことのできない建物である。	-	
32	文化財(国指定登録有形文化財)	栃木病院	栃木市万町13-13	0282-22-0057	医療法人杏林会 栃木病院	大正2年に建築された木造2階建ての病院。吹き放しのヴェランダをもつ中央部の左右に翼部を突出させ構成、それぞれの翼部の屋根の形をかえるなど外観は変化に富む。ハーフティンバーを用いた本格的な意匠で洋風建築が多い市内のなかでひととき目を引く存在である。	-	
33	文化財(国指定登録有形文化財)	大島肥料店店舗	栃木市大町2-6	-	個人所有	大島家は江戸末期から肥料商を営んできた旧家で、店舗の見世蔵は棟札より初代元平が明治15年に建設したことがわかる。西面して建つ切妻造・平入・2階建、正面家屋庇の土蔵造、家屋両端の腰部石張や2階の窓庇の鉄製装飾持送りに特色が見られる。	-	
34	文化財(国指定登録有形文化財)	下野新聞社栃木支局	栃木市万町7-5	0282-20-1023	株式会社下野新聞社	もとは「毛惣」で知られた肥料商の2代目も毛塚惣八が建設した見世蔵で、墨書から大工棟梁は地元の鈴木七右衛門とわかる。切妻造・平入、総2階建、正面は下屋庇付で出桁造、黒漆喰塗とする重厚な土蔵造で、正面2階の窓は縦長の古い形式を見せている。	-	

観光資源リスト（旧栃木市） 6

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
35	文化財(国指定 登録有形文化財)	大二商店店舗	栃木市万町13-13	-	個人所有	旧例幣使街道沿いに西面し、山本有三ふるさと記念館の少し南に建つ。もと糸線商を営んだ屋号釜藤の見世蔵、規模は桁行3間半・梁間3間で、切妻造・平入、総2階建、正面家屋庇付の土蔵造。高さを低く押さえ、2階窓の形式も古風で、明治初期と推定される。	-	
36	文化財(国指定 登録有形文化財)	関根家住宅店舗	栃木市倭町11-4	-	個人所有	洋風店舗建築のひとつで、明治から昭和初期まで煙草卸売商を営んでいた。大正11年の建築でタイル張2階建、棧瓦葺。正面と両側面のパラペットを高く上げ、正面壁面は柱、縦長窓装飾などが左右対称に整然と配され、大正期のセセッション風意匠が目立つ。	-	
37	文化財(国指定 登録有形文化財)	関根家住宅主屋	栃木市倭町11-4	-	個人所有	主屋は店舗背面に平屋建部が連続して建ち、敷地奥に延びて2階建部がある。南側の通り土間が店舗土間と連絡している真壁造、棧瓦葺、奥は1.2階とも床・棚付きの座敷で数奇屋風の繊細な意匠で纏まっている。敷地奥の居住空間の様相が伺える実例。	-	
38	文化財(国指定 登録有形文化財)	関根家住宅文庫蔵	栃木市倭町11-4	-	個人所有	主屋後方に中庭を挟んで建つ土蔵で、もとは東側に土蔵が2棟続いていた。江戸末期の建築と伝える。東西棟の切妻造・浅瓦葺、2階建て、東面の主屋側と南側に庇を付ける。1階は壁面に収蔵棚を設け、2階は畳敷で南面に窓を設け、書斎兼座敷風に扱っている。	-	
39	文化財(国指定 登録有形文化財)	イカハタ アラモノテン 五十畑荒物店店舗	栃木市倭町11-4	0282-22-0716	合名会社五十畑商店	五十畑家は大正12年創業で、現在の店舗はもと糸線商佐山家が明治中期に建設したという。切妻造・平入、総2階建の土蔵造で幅広の正面下屋庇が特色。外壁は漆喰塗であるが、両妻面は彫子下見板(ささらごしたみいた)張とする。奥の住居とは1階奥中央の出入口で結ばれている。	-	
40	文化財(国指定 登録有形文化財)	中田家住宅店店舗	栃木市倭町6-21	-	個人所有	旧例幣使街道沿いに東面して建つ。切妻造・平入、総2階建、正面家屋庇付の土蔵造店舗で江戸末期と推定。桁行5間と規模が大きく、梁間も3間あるため棟が高くなり、黒漆喰塗の外壁と相俟って重量感がある。鉄格子入の2階窓は小さく、古めかしい。	-	
41	文化財(国指定 登録有形文化財)	ガ シュウ 雅秀店舗	栃木市倭町3-2	-	個人所有	旧例幣使街道沿いの西木戸があつた幸来橋の東にある。南面して建ち、切妻造・棧瓦葺、総2階建の土蔵造。外壁は黒漆喰塗で両妻面とも彫子下見板(ささらごしたみいた)張、2階窓には観音扉を備える。2階は中央で左右に間仕切り、座敷とする。高い棟積、大柄な影森など豪壮な建築。	-	

写真

観光資源リスト（旧栃木市） 7

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
42	文化財(国指定 登録有形文化財)	丸三家具店店舗	栃木市倭町10-3	-	個人所有	切妻造・平入、2階建、正面下屋庇付、黒漆喰塗、出桁造・3重蛇腹の軒など、北隣に建つ明治41年上棟の毛塚紙店店舗とほとんど同じ形式であるが、桁行3間と規模が半間小さい。横長の2階窓の高い箱棟、大柄の影森など、明治後期の特色をみせる。	-	
43	文化財(国指定 登録有形文化財)	毛塚紙店店舗	栃木市倭町10-3	-	個人所有	江戸中期より紙商を営んだ老舗で、明治期には県内有数の紙問屋となった。店舗は西面して建ち、小屋梁墨書から明治41年の上棟と判明。切妻造・平入の2階建、正面家屋庇付の形式で黒漆喰塗、出桁造で3重蛇腹の軒、高い箱森など、重厚な意匠の見世蔵。	-	
44	文化財(国指定 登録有形文化財)	天海家住宅店舗	栃木市嘉右衛門町13-2	-	個人所有	桁行3間半梁間2間。切妻造、棧瓦葺、たちの高い木造2階建てで、前面に奥行半間の下屋庇を設ける。隣地に接する北側の外壁は石積みで、上部を屋根上まで建ち上げうだつ風の小屋根を架けている点に特徴がある。	-	
45	文化財(国指定 登録有形文化財)	ワタチュウ 綿忠はきもの店店舗	栃木市万町4-1	-	個人所有	綿忠は江戸後期創業という商家で、店舗は小屋梁の墨書から安政3年5月の上棟とわかる。桁行3間・梁間2間半と小規模で、通り土間が奥の住居棟まで続き、総2階建、正面下屋庇付きの土蔵造で、全体に階高が低く、2階の縦長窓など幕末期の意匠がみられる。	-	
46	文化財(国指定 登録有形文化財)	野口栄三商店店舗及び母屋	栃木市泉町2-27	-	個人所有	野口家は代々麻苧問屋を営んできた老舗である。店舗部は木造2階建、切妻造、棧瓦葺、東西棟である。母屋南側に下屋庇を設け店舗土間からの通り庭とし、店舗と一体的な造りとなっており、内外部ともに伝統的な町屋スタイルの建築である。	-	
47	文化財(国指定 登録有形文化財)	館野家住宅店舗	栃木市泉町2-32	-	個人所有	店舗は桁行7間梁間4間半、鉄板葺、木造2階建。ヴェランダやアーチ窓など外観は洋風であるが、内部は土間と12畳の帳場からなる和風店舗の造りとなっている。	-	
48	文化財(国指定 登録有形文化財)	櫻井肥料店店舗	栃木市万町15-17	-	個人所有	旧例幣使街道に東面して建つ。間口桁行7間半梁間3間、切妻造、棧瓦葺、平入の2階建大型町屋で、全面に下屋を設ける。南寄りに屋敷奥に続く幅1間の通路をとり、その南側が板敷物置、北側は土間を経て畳敷きの帳場となる。南面のみ漆喰塗とし、1階に煉瓦造の袖壁を建てるのも特徴。	-	

写真

42



43



観光資源リスト（旧栃木市） 8

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
49	文化財(国指定 登録有形文化財)	下都賀酒造協同組合事務所	栃木市万町25-16	-	下都賀酒造協同組合	栃木県酒造組合栃木支部の事務所として建設された2階事務所建築。正面中央に洗出し仕上げの玄関ポーチを突き出す。2階中央に破風型の庇を付けるほかは縦長窓を整然と並べ、軒蛇腹や胴蛇腹を石で造りだす。木骨石造事務所建築の好例。	-	
50	文化財(国指定 登録有形文化財)	旧足利銀行栃木支店	栃木市万町15-25	0282-21-2742	栃木市	昭和9年建築、平成17年移設。旧例弊使街道に東面して建つ。建築面積111㎡。切妻造鉄板葺の周囲にバラベットの立ち上げ、外観を陸屋根に見せる木造平屋建。正面に出入口を設け、その両脇にトスカナ風の角柱を建てる。古典様式になる昭和前期の銀行建築の好例である。	-	
51	文化財(国指定 登録有形文化財)	佐藤家住宅店舗	栃木市倭町14-2	-	個人所有	旧例弊使街道沿いに西面して建つ土蔵造の店舗、切妻造・平入、総2階建、正面下屋庇付で、軒は出桁造。外壁は黒漆喰塗になり、正面2階窓はやや縦長であるが、南妻面にも窓を設ける。全体に階高も高く、開口部も多くなっており、明治中期と推定される。	-	
52	文化財(国指定 登録有形文化財)	岡田記念館	栃木市嘉右衛門町1-12	0282-22-0001	館長 岡田陽子	岡田家は550年以上の歴史を持つ旧家で、江戸時代には畠山氏の陣屋となっている。4000坪にも及ぶ広大な敷地に残る土蔵には岡田家伝来の宝物が展示されている。	大人700円 小人300円	
53	文化財(国指定 史跡)	アガツマ 吾妻古墳	栃木市大光寺町吾妻下 下都賀郡壬生町藤井吾妻原	-	個人所有	墳丘がほぼ似た平面形をなした幅広い土壇上に設けられ、この土壇の周囲が幅約20メートル、深さ3メートルの巨大な空濠によって囲まれている。保存状態は大変良く、栃木県地方における古墳時代後期の代表的古墳である。栃木県教育委員会による発掘調査が行われており、史跡の正確な大きさや石室の材質等が明らかになりつつある。	-	
54	文化財(国指定 史跡)	シモツケコク チョウ 下野国庁跡	栃木市田村町300	0282-27-8900 (下野国庁跡資料館)	栃木市	下野国庁は律令制下(奈良・平安時代)における地方統制の中核として設置された役所であり、同時に政治、経済、交易等のいわば、下野国の古代文化を集約する唯一の地方拠点でもあった。下野国庁跡は「和名類聚抄」に「国府在都賀郡」とあり、国府に関連すると思われる地名が広範囲にわたって残されている。	-	
55	文化財(市)	栃木城跡	栃木市城内町1163	-	栃木市	1591年築城。戦国時代の館城跡。東丸の土塁と堀の一部が残っている。	-	

写真

49



50



観光資源リスト（旧栃木市） 9

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
56	文化財(市)	ミナガワジョウシ 皆川城址	栃木市皆川城内町699	0282-22-1812 (皆川公民館)	栃木市	戦国期に皆川氏により、築城され、天正18年(1590)城主皆川広照の時、豊臣秀吉の派遣軍により落城。城址は法蟬貝城と呼ばれており、現在は史跡公園として整備されている。また、城山の麓には皆川家の菩提寺金剛寺があり、皆川家歴代の墓所となっている。	-	
57	文化財(県指定有形文化財)	イヅルサンマンガンジ 出流山満願寺	栃木市出流町288番地	0282-31-1717	出流山満願寺	天平神護3年(西暦767年)勝道上人により開山されたと伝えられている。弘仁11年(西暦820年)には弘法大師がおこりになり、そのときつくったのが、現本尊の11面千手観音菩薩像といわれている。	-	
58	文化財(県指定有形民俗文化財)	ダシ カイカン とちぎ山車会館	栃木市万町3-23	0285-25-3100	栃木市	見事な彫刻と金糸銀糸の刺繍をほどこした山車が繰り出す「とちぎ秋まつり」。山車会館では、江戸・明治時代の職人たちの優れた技の結晶ともいえる山車の保存も兼ねて、まつりの興奮をいつでも、多くの人々が楽しめる。	大人500円 小中学生300円	
59	文化財(県指定史跡)	県庁堀	栃木市入舟町	-	栃木市	栃木市は明治16年まで栃木県庁の所在地であったが、当時の県令が宇都宮市に県庁を移転させた。現在ではその敷地に巡らされた堀だけが残り、県庁堀と呼ばれ、市民の憩いの場として親しまれている。	-	
60	文化財(市)	オオヒラサンジンジャ 太平山神社	栃木市平井町659	0282-22-0227	太平山神社	太平山山頂の北側にある。慈覚大師により開かれたといわれている。本殿(星宮)、随神門があり、いつも参拝者でにぎわっている。東麓にある六角堂(内部の虚空蔵尊・曼荼羅図は県指定文化財)から随神門までの参道は600段の石段で、沿道に植えられたアジサイは見ごとである。	-	
61	文化財(市)	星野遺跡	栃木市星野町400	0282-21-0742	栃木市	昭和40年からの調査により、出土された旧石器の含まれた地層などから、前期旧石器時代の遺跡であることがわかった。ほかに、縄文時代住居址群も発見されており、縄文前期・中期住居、貯蔵庫が復元保存されている。近くに星野民芸館や星野画廊もある。	-	

写真

56



57



58



観光資源リスト（旧栃木市） 10

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
62	文化財(県)	太山寺	栃木市平井町714	0282-11-1514	太山寺	天長10年(833)に慈覚大師により創建されたと伝え、観音堂(市指定)や堂内に安置される千手観音像(県指定)、境内のしだれ桜(市指定)など多数の文化財が見られる。しだれ桜は、樹齢350年以上の巨木で、三代将軍と徳川家光の側室高島御前のお手植えとも言われている。栃木県百選にも選ばれている。	-	
63	文化財(市)	東善光寺	栃木市木野地町	-	東善光寺保存会	寺の縁起によれば、法徳尼が大治2年(1127)、時の領主長沼宗光と共に如来堂を建立して開山したと伝えられている。また、下野国誌によると、領主の長沼融覚が貞和年間(1345~50)に建てたとの伝承もある。梵鐘は、元禄3年(1690)に佐野の天明鑄物師により製作されたものであり、仁王像は、江戸時代の作としては表現に優れ、同時代の作例として貴重なものである。梵鐘・仁王像いずれも下野国出身で江戸牛込在住の内木市兵衛により寄進されたものである。	-	
64	文化財(市)	オオミワジンジャ 大神神社	栃木市惣社町477	0282-27-6126	大神神社	大物主神を祭神とする大神神社は古くから「下野惣社」として知られている。惣社とは、平安時代、国府の長官が下野国内にまつられている神々をお参りするために国庁に近い大神神社の地に惣(すべ)ての神々を勧請し祀ったものである。また、この地は、けぶりたつ(煙立つ)「室の八鳥」と呼ばれ、平安時代以来東国の歌枕として、都まで聞こえた名所であった。幾多の歌人によって多くの歌が残され、江戸時代には「奥の細道」の芭蕉も訪れている。	-	
65	文化財(市)	神明宮本殿	栃木市旭町26-3	0282-24-4500	神明宮	創建は応永10年(1403)で、当初は神明宮(現神田町)にあったが、天正17年(1589)皆川広照の栃木城築城にともなって現在地に移され、栃木町の成立にかかわった貴重な神社である。現存する本殿は、明治16年(1883)の再建になるものだが、古式を守った本格的な神明造の神社建築であり、建築当初の姿をよくとどめている。また千木が市名のもととなっているといわれており、栃木の歴史に欠かすことのできない建造物である。拝殿は明治8年上棟の神道中教印講堂を転用したものである。	-	
66	文化財	岩下記念館	栃木市本町1-25	0282-20-5533	岩下食品株式会社	岩下食品が地域社会貢献のため、美術品の展示・保存を目的に建てた記念館である。栃木市の歴史、産業の紹介も行っている。2007年3月28日より一般公開されている。	大人300円 小人300円	

観光資源リスト（旧栃木市） 11

番号	分類	名称	所在地	電話番号	管理者	特徴	入場料等	備考
67	文化財	とちぎ蔵の街美術館	栃木市万町3-23	0282-25-8228	栃木市	およそ200年前に建てられた土蔵3棟を改修し、美術館として現代によみがえらせ、栃木市ゆかりの作家の作品を中心に収蔵している。	一般300円 小中学生100円 (内容により異なる)	
68	文化財	栃木市郷土参考館	栃木市倭町4-18	0282-24-2145	栃木市	質商を営んでいた板倉家の土倉と母屋からなる約200年前の建物。2階部分の松の一本通しの梁など、当時の土蔵の構造をうかがい知ることができる。郷土資料や遺跡出土品、絵画等も展示されている。	-	
69	文化財	レイヘイシ、カイドウ 例幣使街道	栃木駅から徒歩25分 第一駐車場から徒歩15分	-	栃木県・栃木市	1617年、徳川家康が日光山に改葬され、その後、毎年、朝廷から日光街道に例幣使と呼ばれる勅使がつかわされた。この道が例幣使街道と呼ばれ、その一部が大通りや嘉右衛門町通りであり、現存している見世蔵などが当時の繁栄振りを偲ばせている。	-	
70	文化財	あだち好古館	栃木市万町4-2	0282-22-0149	安達正幸	江戸気分いっぱいの文化とロマンの蔵の美術館。当代一流の浮世絵をはじめ、江戸時代の歌舞伎俳優の錦絵などが展示されている。	大人400円 小中学生250円	

写真

67



68

